

はじめに

書店の参考書売り場に行けば、多くの単語集が置いてあります。その中から、自分に合ったものを選ぶ。繰り返し使い、本がボロボロになる頃には自分の語彙力も上がっているはず…そう願いながら毎日コツコツと勉強を続ける。今、この本を手にとっている皆さんの多くの先輩もそうしてきました。英語のスタートラインとゴールは、やはりともに「語彙力」に他なりません。すでに多くの単語集が出版されているなかで、新たに本書を出すに当たっては、以下のことを意識しました。

- ・長年予備校で教えている講師が、データではなく肌で感じている必須単語を、基礎レベルから上級レベルまで無理のない配列で学べるようにする(基本編→標準編→発展編→応用編)。
- ・見出し語の難度だけでなく、例文の難度も無理なく学習できるよう徐々に上げていく。
- ・大学入試に精通している河合塾のネイティブ・スピーカー講師が、見出し語の他にも重要な表現を含めて例文を作成することにより、例文のみでも学習効果が得られるようにする。
- ・例文の中に、他の見出し語や派生語をできる限り盛り込むことにより、本書で扱っている単語を自然に覚えられるようにする。

勉強であれ、他のことであれ、何かをやり始めることよりも、それを続けていくことや成し遂げることの方がずっと困難であることは言うまでもありません。みなさんがこの1冊の勉強を続け、やり遂げることが、受験の成功はもちろん、大人になってからも使える英語力の土台の一部となることを、筆者一同願っています。

本書の使い方

● 4 技能の習得 ●

大学入試では多様な力が求められるようになってきました。特に英語では「4技能」—「読む・聞く・話す・書く」の4つの力をバランスよく身につけることが目標になりました。これらの4つの力は、「文字」と「音声」、「input系」の能力(外から受け取り、理解する力)と「output系」の能力(自分が組み立て、発信する力)の面から、以下の表のように整理できます。

	input系の能力	output系の能力
文字	読む a) 大まかな内容がわかる ↓ b) 論理的な文章が読める	書く a) 日本語を英語にする ↓ b) 自分の意見を英語で書ける
音声	聞く a) 大まかに内容をつかむ ↓ b) 音声ルールを意識して耳を鍛えていく	話す a) 短い会話を成立させる ↓ b) 自分の意見を英語で言える

「読む」「書く」「聞く」「話す」力をバランス良く伸ばしていくためには、語彙力がその上台に必要です。また、これらの力はバラバラの勉強で習得できるものではなく、異なる力を同時に使うような連動性のある学習習慣によって身につけられるものです。

本書を使った勉強でも、「英単語を見て日本語の意味がわかる」ことだけを目的とせず、以下のような勉強を意識的に続けていくことで、効果が倍増するはずです。

リーディングのトレーニング

見出し語の意味を参考に、例文の意味内容を素早く理解できるようにする。

ライティングのトレーニング

例文を暗記・暗唱し、訳文を見て書けるようにする。

リスニングのトレーニング

例文の音声のみを聞いて、聞き取れるように、また書き取ることができるようにする。

スピーキングのトレーニング

音声に合わせて例文を音読したり、シャドーイング(聞こえてくる音声よりも少し遅れて、例文を見ないで声を出して追っていく練習法)したりすることにより、英語が自然に口をついて出るようにする。

●使用における注意点●

・見出し語の意味を覚えやすいように、例文の訳が一般的な訳とは異なっている場合があります。

(例) **dense** fog 「濃い霧」(一般的な訳は「濃霧」)


また、例文の訳は見出し語の訳になっていても、◆(慣用表現)では一般的な訳になっている場合があります。

(例) ... she **breathed** deeply 「彼女は深く呼吸した」

◆breathe deeply 「深呼吸する」

・発音記号があまりよくわからない人のためにカタカナでも表記しています。ただし、カタカナでは正確に発音を示すことができません。音声聞いて正確な発音を身につけてください。英語は特にアクセントが重要です。辞書等で第一アクセントと第二アクセントがついている語でも、アクセントを意識するという観点から、発音記号には第一アクセントのみつけてあります(カタカナは太字で表示)。

(例) **situation** [sitʃu'eɪʃən] スィチュエイション(辞書等の表記は[sitʃu'eɪʃən]ですが、第二アクセント「i」は振っていません)

なお、発音やアクセントが入試でよく問われる語や、間違えやすい語には、発音記号の横に **発音**  の印をつけています。

●補遺●

各 UNIT の余白には、覚えておくところとちょっと便利な、身近な名詞をまとめてあります。

●音声のダウンロード●



筆者 (Rhodric Davies) 自身が読み上げた音声を聞いて、見出し語と例文の学習に役立ててください。

ダウンロードの方法と注意点

パソコンから下記の URL にアクセスしてください。

<http://www.kawai-publishing.jp/onsei/01/index.html>

※ホームページより直接スマートフォンへのダウンロードはできません。パソコンにダウンロードしていただいた上で、スマートフォンへお取り込みいただきますよう、お願いいたします。

- ・ファイルは ZIP 形式で圧縮されていますので、解凍ソフトが必要です。
- ・ファイルは、MP3 形式の音声です。再生するには、Windows Media Player や iTunes などの再生ソフトが必要です。
- ・各 UNIT の品詞による分類1つ分が1つのファイルで、B01～B49 の全 49 ファイル構成となっています。
- ・掲載されている音声ファイルのデータは著作権法で保護されています。データを使用できるのは、ダウンロードした本人が私的に使用する場合にに限られます。
- ・本データあるいはそれを加工したものを譲渡・販売することはできません。

お客様のパソコンやネット環境により、音声を再生できない場合、当社は責任を負いかねます。ご理解とご了承をいただきますよう、お願いいたします。

●目次●

基本編	8
標準編	102
発展編	198
応用編	294

●略語・記号一覧●

- (名) 名詞 (動) 動詞 (形) 形容詞 (副) 副詞
(前) 前置詞 (接) 接続詞 (複) 不規則な複数形
[-s] 複数形で用いられる語
[the] the を伴う語
[the-s] the を伴い、複数形で用いられる語
[A-] 大文字で始まる語
[the A-] the を伴い、大文字で始まる語
[受身] 受動態 (be *done*) で用いられる語
[同音] 見出し語と発音が同じ語
[同義] 見出し語とほぼ同じ意味を持つ語句
[反義] 見出し語と反対・対照の意味を持つ語句

◆ 慣用表現 (例文中に用いられているもの)

◇ 慣用表現

▷ 派生語

♣ 補足情報

[米] 主にアメリカ用法

[英] 主にイギリス用法

() 省略可能・補足説明

[] 直前の単語・語句と置き換え可能な語句

A・B・C 対等な要素 (主に名詞)

to do 不定詞

doing 動名詞・現在分詞

one's 所有格 (人称に応じて変化)

UNIT 1

名詞 noun

0001	situation [sitʃu'eɪʃən] スイチュエイシャシヤン	状況 , (人のある時点の) 立場 ▷ situated (形) (…に) 位置している (in)
0002	decision [dɪ'sɪʒən] デイスイジヤン	決定 , 決心 ◆ make a decision 「決定する」 ▷ decide (動) 決定する ▷ decisive (形) 決定的な
0003	pleasure [plɛʒəʊr] プレジャ	喜び , 楽しさ, 娯楽 ▷ please (動) 喜ばせる ▷ pleasant (形) 楽しい
0004	nation [néiʃən] ネイシャシヤン	国家 , 国民 ▷ national (形) 国家の, 国民の
0005	unit [ju:nɪt] ユーニット	単位 , (1つの) まとまり ▷ unite [ju:'naɪt ーナɪt] (動) 結合させる ▷ united (形) 結合した
0006	bottom [bɒtəm] ボトム	最下部 , 底 [反意] top 「頂上」 ◆ at the bottom of A 「Aの下[底]に」
0007	author [ˈɔ:ðəʊr] オーサ	著者 , 筆者 [同義] writer 「筆者」
0008	memory [méməri] メモリ	記憶(力) , 思い出 ▷ memorize (動) 記憶する ▷ memorial (形) 記念の

The climbers found themselves in a dangerous <u>situation</u> .	登山者たちは危険な <u>状況</u> に置かれていた。
We need to make a <u>decision</u> on the matter.	私たちはその件に関して <u>決定</u> を下す必要がある。
My mother takes great <u>pleasure</u> in helping others.	母は人助けをすることに大きな <u>喜び</u> を感じている。
Japan is one of the wealthy <u>nations</u> of the world.	日本は世界の裕福な <u>国</u> の1つだ。
The family is the basic <u>unit</u> of society.	家族は社会の基本 <u>単位</u> だ。
Click on the icon at the <u>bottom</u> of the screen.	画面の <u>最下部</u> にあるアイコンをクリックしてください。
J. K. Rowling is one of my favorite <u>authors</u> .	J.K.ローリングは私の好きな <u>著者</u> の1人だ。
This photo brings back a lot of happy <u>memories</u> .	この写真を見るとたくさんのおもしろい <u>記憶</u> がよみがえる。